

健康寿命は、のばせる。

confidential

# 健検<sup>TM</sup>

日本健康マスター検定

日本健康マスター検定

## ▶ 【健検】 全体概要/ 団体受験のご案内



健康マスター検定協会

2021年 3 月



【健検】は、

人生100年時代に向けた

ビジネスパーソン、学生のみなさんの

必須検定です。



詳しくは、  
協会HPまで

- ✓ **【健検】** は、“ヘルスリテラシー”をはかるための**試験**です。
- ✓ **【健検】** は、“ヘルスリテラシー”を高めるための**ツール**です。
- ✓ **【健検】** は、社員の健康づくりを見直す**きっかけ**です。
- ✓ **【健検】** は、健康経営を進めるための**知識基盤**です。
- ✓ **【健検】** は、健康事業に携わる社員の**武器**です。



職域、地域、学域で、ひとりでも多くの  
**「ヘルスケア・リーダー」**を誕生させる！



**37,620名**  
(※現在、のべ数)

結果として

- ①生活者、ビジネスパーソン全体の“ヘルスリテラシー” 向上
- ②「セルフケア」「コミュニティケア」のパワーアップ
- ③ヘルスケア関連市場拡大、健康長寿社会実現への貢献



✓ **主**

**催：**



**健康マスター検定協会**

一般社団法人 日本健康生活推進協会（2016.4発足）



理事長 大谷 泰夫

✓ **監修協力：** 日本医師会

✓ **後援：**

文部科学省、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、日本栄養士会、NHKエンタープライズ、NHKエデュケーショナル、NHK厚生文化事業団、サンケイリビング新聞社、スマート・ライフ・プロジェクト（厚生労働省）、健康日本21推進全国連絡協議会、健康体力づくり事業団、日本健康運動指導士会、日本ウォーキング協会、スポーツ健康産業団体連合会、日本フィットネス産業協会、日本保育協会、全国理容生活衛生同業組合連合会、全日本美容業生活衛生同業組合連合会、日本チェーン・ドラッグストア協会、スマートウェルネスコミュニティ（SWC）協議会、全国健康増進協議会、日本病院会  
神奈川県、静岡県、島根県、広島県、高知県、福岡市、北九州市、直方市

✓ **特別パートナー：** 東京海上日動火災保険 / 住友生命保険相互会社

✓ **パートナー：** メディパルホールディングス



## ■ 基本コンセプト 「健康寿命は、のばせる。」

| コース名称    | ベーシック・コース                                                             | エキスパート・コース                                                                                                |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的       | 自らの健康づくり、健康寿命を伸ばすために必要な、生活習慣改善のための正しい健康知識・ノウハウを習得し、基本的な健康リテラシーを身につける。 | 自らの健康だけでなく、社内の部下、管理対象者や顧客、地域の生活者などに対しても、健康づくりや生活習慣改善のアドバイスを行うための正しい体系的な健康知識・ノウハウを習得し、一定レベルの健康リテラシーを身につける  |
| 対象者      | セルフケア（自分自身の健康づくり）への関心、ニーズを持つ一般生活者、ビジネスパーソンなど                          | 「ベーシックコース」の上級版として、「コミュニティケア」（他者、集団の健康づくり）にも関与する方、健康知識・ノウハウの仕事活用ニーズを持つビジネスパーソンや職域の管理職リーダー、地域の健康推進を担うリーダーなど |
| 参考書      | 「日本健康マスター検定試験公式テキスト」(増補改訂版)                                           |                                                                                                           |
| 出題数・解答時間 | 60問（60分）                                                              | 80問（80分）                                                                                                  |
| 出題解答形式   | 4肢択一マークシート方式                                                          | 4肢択一マークシート方式                                                                                              |
| 合格基準     | 正解率75%以上                                                              | 正解率75%以上                                                                                                  |
| 受験料（税別）  | 5,000円                                                                | 8,000円                                                                                                    |

\* 「健康マスター」タイトルの有効期間は4年間。協会指定のeラーニング講習受講により資格は更新できます。



## 職 域

- \* 人事、健保部門関係者
- \* 健康関連事業関係社員
- \* 顧客サービス従事者
- \* 管理職、職場の衛生・健康委員
- \* 既存の専門職  
(栄養士、薬剤師、運動指導士ほか)

- \* 健康経営
- \* ヘルスケアビジネス
- \* 健康学習



- \* 健康なまちづくり
- \* セルフケア

## 地 域

- \* 自治体の健康管理・福祉関係者
- \* 市町村・健康推進委員
- \* 健康に関心の高い住民
- \* シニア層



- \* 健康学習
- \* キャリア形成
- \* 就職対策

## 学 域

- \* 健康、福祉、栄養、運動系  
教職員、専攻大学生、  
専門学校生、高校生
- \* 就活生





## 1. 健康学習/ヘルスリテラシーの向上と健康啓発

- ・ 健康生活や業務に必要な一定レベルの健康知識・リテラシー習得
- ・ 健康行動に向けた意識啓発
- ・ 資格更新時（4年ごと）に、最新の知識をメンテできる  
「資格講師eラーニング講座」が受講できます。



## 2. 健康マスター（ベーシック/エキスパート）の資格取得

- ・ 業務や地域活動でのパーソナルタイトル、肩書学生のキャリアづくり
- ・ 既存取得資格とのシナジー発揮（マルチ資格）



### ＜健康マスター会員特典＞

- ・ 毎月の協会情報、健康情報を盛り込んだメルマガ購読
- ・ 協会主催の各種セミナーへの参加、表彰制度へのエントリー

## 3. 健康関連業務、ビジネスでの活用

- ・ 健康知識を活かした健康関連業務や顧客サービスなどのレベルアップ
- ・ 健康経営、SDG's、well-being等経営施策での活用



ただし、この資格を活かすも活かさぬも、皆さま次第です。



## ■ 試験申込者数

- ・ 第一回 －4,072名（ベーシック 1,536名／エキスパート 2,536名）
- ・ 第二回 －3,960名（ベーシック 712名／エキスパート 3,248名）
- ・ 第三回 －5,472名（ベーシック 1,332名／エキスパート 4,150名）
- ・ 第四回 －10,000名（ベーシック 3,552名／エキスパート 6,448名）
- ・ 第五回 －13,192名（ベーシック 5,267名／エキスパート 7,925名）
- ・ 第六回 －6,509名（ベーシック 2,782名／エキスパート 3,727名）
- ・ 第七回 －7,918名（ベーシック 4,894名／エキスパート 3,024名）
- ・ 第八回 －8,048名（ベーシック 5,846名／エキスパート 2,202名）
- ・ 第十回 －7,260名（ベーシック 4,699名／エキスパート 2,662名）
- ・ 第十一回－4,884名（ベーシック 2,763名／エキスパート 2,115名）



\* 合計 － 71,508名

\* 合格者（第10回試験まで） － 37,614名（\* ベーシック17,623名/エキスパート19,997名）

## ■ 主な団体受検企業（順不同）

\* 丸井、東京海上日動、JAL健保、ANA、江崎グリコ、パナソニック健保、東芝健保、トヨタ自動車、メディopalホールディングス、住友生命、明治安田生命、損保ジャパンひまわり生命、朝日生命、富国生命、アンファース、SCSK、エムティーアイ、三菱食品、ローソン、ロート製薬、NHK、TOKAIグループ、ファンケル、サンケイリビング新聞社、ルネサンス、パソナ、ベネフィット・ワン、富士通エフサス、日本ユニシス、高知学園短大、国際学園 ほか



## ■試験実施日程： 年間3回実施

第11回 / 2021年3月7日（日）

＜第12回 / 2021年7月4日（日）＞

|            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 団体受検申請開始   | 2021年3月29日（月）～                  |
| 団体受検申請締切   | ～5月7日（金）                        |
| 公式テキスト一括申込 | 随時                              |
| 団体受検個人申込期間 | 2021年4月13日（火）～<br>2021年5月18日（火） |
| 受検票発送日     | 2021年6月15日（火）                   |
| 成績票発送日     | 2021年8月18日（水）                   |

＜第13回 / 10月24日（日）＞

|            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 団体受検申請開始   | 2021年7月5日（月）～                   |
| 団体受検申請締切   | ～8月20日（金）                       |
| 公式テキスト一括申込 | 随時                              |
| 団体受検個人申込期間 | 2021年7月20日（火）～<br>2021年9月10日（金） |
| 受検票発送日     | 2021年10月11日（月）                  |
| 成績票発送日     | 2021年12月8日（水）                   |

＜第14回 / 2022年3月6日（日）＞

## ■試験会場（予定）：

東京・大阪・名古屋・札幌・釧路・青森・盛岡・仙台・米沢・郡山・高崎・宇都宮・  
さいたま・千葉・横浜・大和（神奈川県）・沼津・静岡・浜松・新潟・長野・  
富山・岐阜・大津・京都・奈良・和歌山・神戸・姫路・岡山・広島・松江・  
高松・松山・高知・福岡・久留米・大分・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・那覇  
計43都市で開催 + 団体受検企業自社施設





## ■ 「日本健康マスター検定公式テキスト」（増補改訂第2版）

- ＜編者＞ 日本健康生活推進協会、日本健康マスター検定制作委員会
- ＜監修＞ 日本健康マスター検定総合監修委員会
- ＜仕様＞ A5判・2色/272ページ/
- ＜定価＞ 2,900円（税別）
- ＜構成＞
  - ・健康マスターへの道
  - ・食生活と健康
  - ・嗜好の見直し
  - ・運動と健康
  - ・睡眠と心の健康
  - ・がん対策
  - ・救急の知識
  - ・健診、検診の役割
  - ・高齢者家族の健康
  - ・女性の健康
  - ・口の健康
  - ・感染症の予防
  - ・健康を支える仕組み
  - ・健康の啓発



## ■ 「公式副読本/新型コロナウイルス～未知なる感染症から身を守るヘルスリテラシー」

- ・政府・新型コロナウイルス感染症政府委員・岡部信彦氏監修、日本医師会監修協力のもと製作。定価500円（税別）。試験受験者には無料進呈します。試験の出題範囲となっており、“日本唯一の新型コロナウイルス検定”となります。



## ■ 「厳選100問 問題・解答解説集&試験対策セミナー資料集」

- ・過去の試験問題から、中心となる100問をピックアップし、その解答解説と試験対策セミナーの資料を一冊にまとめた資料集です。  
定価 2,000円（税別）





■ 第1回～10回試験までの健康マスター取得者数企業ランキング (のべ人数)

|     |               |
|-----|---------------|
| 第1位 | 住友生命保険        |
| 2位  | メディパルHグループ    |
| 3位  | 明治安田生命        |
| 4位  | 東京海上日動火災保険    |
| 5位  | 丸井グループ        |
| 6位  | SOMPOひまわり生命保険 |
| 7位  | SCSK          |
| 8位  | 朝日生命保険        |
| 9位  | エムティーアイ       |
| 10位 | OSGコーポレーション   |
| 11位 | 大阪トヨタ自動車      |
| 12位 | TOKAIホールディングス |
| 13位 | ルネサンス         |
| 14位 | 三菱食品          |
| 15位 | 日本航空健康保険組合    |
| 16位 | サンケイリビング      |
| 17位 | 江崎グリコ         |
| 18位 | データホライゾン      |
| 19位 | ベネフィット・ワン     |
| 20位 | ロート製薬         |



## 概要

- 「健康マスター・エキスパート」取得者を対象に、健康マスターや健康知識の普及啓発を担う方々を「健康マスター・普及認定講師」として認定を行う講座プログラムを、2018年1月からスタート。すでに12回の講座で、約600名の方が認定講師資格を取得し、各地で活躍をされています。コロナ感染に配慮し、現在はリモート講座形式となっています。

健康マスター/普及認定講師

健康マスター/エキスパート

健康マスター/ベーシック



(一社)日本健康生活推進協会  
**【健康マスター・普及認定講師】**  
**第3回講座のご案内**

**健検**  
 日本健康マスター検定

日本健康生活推進協会では、この国の「健康リテラシー」向上に向けた様々な活動を行っておりますが、その一環として、「健康マスター」普及認定講師制度を創設し、既に12名の講師が誕生しております。認定により得た健康知識をどう伝え、実際の健康行動にどう結びつけるのか、その実践的なノウハウを学んでいただき、所定の講義終了時には協会認定の「健康マスター・普及認定講師」としての、職業や地域での健康普及啓発活動を当協会として応援いたします。

**【日程】2018年6月28日(木) 13時~17時(予定)**  
**【会場】東京海上自衛隊三軒目ビル**

| 対象   | 健康マスター(エキスパート)取得者                             |
|------|-----------------------------------------------|
| 参加費  | 無料(交通費、昼食費、会場費は別途)※会場は、会場費を希望する方は、お問い合わせください。 |
| 講座時間 | 13:00~17:00                                   |
| 備考   | 協賛企業様等には、別途、参加費に別添付の資料を別途の要領をのせて資料一式を提出いたします。 |

**講座内容**

1 主催者挨拶  
 日本健康生活推進協会 代表 理事 中島 雅

2-0 「これから、やるべきこと」  
 「健康マスター」認定講師としての役割と役割の重要性について  
 ①健康マスター認定講師としての役割  
 ②健康マスター認定講師としての役割  
 ③健康マスター認定講師としての役割  
 ④健康マスター認定講師としての役割  
 ⑤健康マスター認定講師としての役割  
 ⑥健康マスター認定講師としての役割  
 ⑦健康マスター認定講師としての役割  
 ⑧健康マスター認定講師としての役割  
 ⑨健康マスター認定講師としての役割  
 ⑩健康マスター認定講師としての役割  
 ⑪健康マスター認定講師としての役割  
 ⑫健康マスター認定講師としての役割

2-1 会場における「健康マスター」の考え方と役割について  
 ①健康マスター認定講師としての役割  
 ②健康マスター認定講師としての役割  
 ③健康マスター認定講師としての役割  
 ④健康マスター認定講師としての役割  
 ⑤健康マスター認定講師としての役割  
 ⑥健康マスター認定講師としての役割  
 ⑦健康マスター認定講師としての役割  
 ⑧健康マスター認定講師としての役割  
 ⑨健康マスター認定講師としての役割  
 ⑩健康マスター認定講師としての役割  
 ⑪健康マスター認定講師としての役割  
 ⑫健康マスター認定講師としての役割

3 会場、地域の健康行動をいかに結びつけるか?ヘルスプロモーション  
 ①ヘルスプロモーションの考え方  
 ②ヘルスプロモーションの考え方  
 ③ヘルスプロモーションの考え方  
 ④ヘルスプロモーションの考え方  
 ⑤ヘルスプロモーションの考え方  
 ⑥ヘルスプロモーションの考え方  
 ⑦ヘルスプロモーションの考え方  
 ⑧ヘルスプロモーションの考え方  
 ⑨ヘルスプロモーションの考え方  
 ⑩ヘルスプロモーションの考え方  
 ⑪ヘルスプロモーションの考え方  
 ⑫ヘルスプロモーションの考え方

4 健康マスター認定講師としての役割について

詳細・申し込みはWebで <https://kenken.or.jp/>  
 ※申し込み期間: 2018年4月22日(月)~5月28日(月)

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 日本健康生活推進協会  
 TEL: 03-6363-6363 FAX: 03-6363-6364 E-MAIL: kenken@kenken.or.jp





## ■「団体受検」とは？

- ・原則、50名以上の受検者が見込める場合に適用される制度。  
団体受検責任者が申し込み手続きを行い、
  - ①受検料、テキスト代の割引適用。受検者個人払いか請求書一括支払いが可能です。
  - ②団体（企業）受検者の申込状況、合否状況のデータが管理できます。
    - 協会が発表する「団体合格者（健康マスター）人数ランキング」（前述）へのエントリーが可能となります。
  - ③自前で手配する会場（会議室、公共施設など）での試験実施も可能です。

## ■「団体受検」の種類

団体受検には以下の2種類があります。

### （1）自社会場を利用するタイプ（団体受験A）ー

- ・会場手配、試験運営まで行う。試験は、公開会場試験と同一日時で実施。
- \* 受験できる会場・・・自社会場。公開会場との併用も可能です。
- \* 割引率⇒●受験料15%＜ベーシック 4,250円/エキスパート 6,800円（税別）＞  
●テキスト代15%＜2,465円（税別）＞  
※学生の場合、テキストは30%引き＜2,030円（税別）＞

### （2）自社会場を利用しないタイプ（団体受験B）ー上記（1）と同様。

- \* 受験できる会場・・・公開会場
- \* 割引率⇒●受験料5%＜ベーシック 4,750円/エキスパート 7,600円（税引）＞  
●テキスト代ー上記（団体受験A）と同じ



## 1. 受検関連経費全額を企業が負担

- ・ A社 ― 団体受検を実施。受検料（2回まで）、テキスト代を全額企業が負担

## 2. 合格者には、受検料を企業が負担

- ・ B社 ― 団体受検を実施。合格者には受検料を後日、個人口座に振込。

## 3. 合格者には、資格手当を企業が支給

## 4. 団体受検により、割引価格で受検料、テキスト代を従業員個人が負担

- ・ C社 ― 団体受検契約を行い、割引価格での受検機会を提供。

## 5. 企業がテキストを一括購入、受検希望者にはテキストを配布

- ・ D社 ― テキスト20冊以上の一括購入には、割引での購入が可能。  
（＊合格対策過去問解説集についても、同様の展開が可能）

## 6. 合格率アップに向け、協会からの講師を招いての合格対策セミナー開催

- ・ E社 ― 社内でオンライン中継も交えてのセミナー開催。協会サポート。



健検の受験勉強を通じて、半数程度の受検者が「身体活動・運動量を増やす」

「食生活での減塩」「野菜・果物の摂取」という点で、普段の健康意識・行動に変化があったと回答。（第7回試験受検者アンケート調査より）



|    |         |          |         |                   |             |          |             |         |      |       |       |     |      |     |
|----|---------|----------|---------|-------------------|-------------|----------|-------------|---------|------|-------|-------|-----|------|-----|
| 総数 | 食生活での減塩 | 野菜・果物の摂取 | 身体活動・運動 | がん生活習慣病になる食生活の見直し | 睡眠・ストレスへの対応 | 健診・検診の受診 | 喫煙習慣の見直し・禁煙 | 口の健康づくり | コモ対策 | 感染症対策 | 女性の健康 | その他 | 特になし | 無回答 |
|----|---------|----------|---------|-------------------|-------------|----------|-------------|---------|------|-------|-------|-----|------|-----|



経済産業省認定の【健康経営銘柄】【健康経営優良法人】の評価のベースになる  
 <健康経営度調査> 評価指標の一つ「ヘルスリテラシーの向上」の適合例に、  
 「検定の受講」が盛り込まれており、【健検】の受検者数、合格者数などをアピール  
 できます。





- 厚生労働省/スマートライフプロジェクト【健康寿命をのばそう！アワード】で2019年度健康局長賞を受賞！



厚生労働省  
スマート・ライフ・プロジェクト



健康寿命を  
のばそう！  
AWARD

健康寿命をのばそう！アワード  
：厚生労働省・スポーツ庁



- 文部科学省および関係団体である全国検定振興機構が進める検定事業の自己評価、および第三者評価を実施し、高い評価を獲得しております。  
(＊評価内容は、当協会HPから閲覧できます)





一般社団法人

日本健康生活推進協会

2021年4月現在

|       |                          |        |
|-------|--------------------------|--------|
| ●理事長  | 神奈川県立保健福祉大学理事長/元・厚生労働審議官 | 大谷 泰夫  |
| ●専務理事 |                          | 江木 佐織  |
| ●常務理事 |                          | 中島 順   |
| ●理事   | 日本薬剤師会 専務理事              | 磯部 総一郎 |
|       | 日本医師会 副会長                | 今村 聡   |
|       | NHK 前・副会長／衛星放送協会会長       | 小野 直路  |
|       | 日本看護協会 常任理事              | 鎌田 久美子 |
|       | ベネフィット・ワン 執行役員           | 沢田 雅浩  |
|       | サンケイリビング新聞社代表取締役社長       | 細井 英久  |
| ●監事   | 国政情報センター 代表取締役社長         | 中島 孝司  |
| ●事務局長 |                          | 林 俊生   |

## 【総合監修委員会】（テキスト、問題制作監修体制）

|                              |        |
|------------------------------|--------|
| ・日本医師会常任理事（＊委員長）             | 羽鳥 裕   |
| ・早稲田大学教授（スポーツ科学）             | 岡 浩一郎  |
| ・川崎市健康安全研究所 所長               | 岡部 信彦  |
| ・日本大学歯学部教授（医療人間科学分野）         | 尾崎 哲則  |
| ・国立がん研究センター 社会と健康研究センター長     | 津金 昌一郎 |
| ・日本医科大学 教授（産婦人科）             | 中井 章人  |
| ・東京大学 名誉教授（整形外科）             | 中村 耕三  |
| ・神奈川県立保健福祉大学学長               | 中村 丁次  |
| ・防衛医科大学 名誉教授（精神科）            | 野村 総一郎 |
| ・順天堂大学大学院 特任教授（先端予防医学・健康情報学） | 福田 洋   |
| ・東京医療保健大学大学院 非常勤講師           | 村中 峯子  |



## 參考資料



## ● 団体受検企業24社からのアンケート調査より（2020年10月実施）

- ◇ 受検目的は、「**社員等の健康知識・リテラシー向上**」が最も多く（88%）、次に「業務での活用」「社員の健康行動促進」「健康経営の推進」。
- ◇ 受検関連経費の負担状況は、「**全額会社負担**」とする企業が全体の29%、「合格したら受検料全額」を会社負担とする企業が25%、「全て受検者負担」が17%で、何らかの費用助成を行っている企業が多い。
- ◇ 検定合格者への特典として、「**名刺の【健康マスター】タイトル記載**」が42%、「社員プロフィール（データベース）への記載、登録」が21%、報酬、評価査定へ反映は、各8%と少ない。
- ◇ 団体受検決定のキーマンは、「**人事担当部・課長**」「**事業担当役員**」が各24%で最も多く、次に「人事担当役員」の20%。
- ◇ 合格者＝健康マスターの資格活用方法は、「**営業等社外業務活動への知識活用**」58%、「**社内業務活動への知識活用**」46%、「名刺にタイトルを表記」38%。
- ◇ 「健検の業務での活用」している企業13社のうち、「**営業で活用できる【健康マスター】資格の認知度向上**」が85%、「(テキスト、試験内容の)ビジネス、営業化の視点」「ビジネスに関わる関連法規制の情報」が各31%。
- ◇ 「健康経営の推進」も目的とする企業12社のうち、**健康経営上の課題は「メンタルヘルス」67%、「禁煙推進」58%、「健康経営の社員浸透」50%。**



- 「健康マスター」を取得した芸能人が、【健康マスター名誉リーダー】として「健検」普及に協力



[illegible]

主催  一般社団法人 日本健康生活推進協会 後援・監修協力/日本医師会 後援/日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、日本栄養士会 など計31団体・自治体 ほか

[illegible][illegible]

気づいたときにはもう手遅れ……にならないように  
**からだの見える化で「フレイル」対策**

からだの見える化でフレイルを早期に発見し、改善するための取り組み。フレイルとは、健康と病気の境目にある状態。フレイルを早期に発見し、改善することで、健康を維持し、生活の質を向上させることができる。

フレイルを早期に発見し、改善するための取り組み。フレイルとは、健康と病気の境目にある状態。フレイルを早期に発見し、改善することで、健康を維持し、生活の質を向上させることができる。

フレイルを早期に発見し、改善するための取り組み。フレイルとは、健康と病気の境目にある状態。フレイルを早期に発見し、改善することで、健康を維持し、生活の質を向上させることができる。

**認知症に備えるだけじゃない。立ち向かう保険だ。**

4.1%の保険料で、認知症になったときに、最大200万円が支払われます。

### 3/24 藤生佳友生命の認知症Plus

認知症になったとき、生活費が足りなくなると、生活費が足りなくなるまで、毎月20万円が支払われます。

認知症Plus

認知症になったとき、生活費が足りなくなると、生活費が足りなくなるまで、毎月20万円が支払われます。

認知症Plus

認知症になったとき、生活費が足りなくなると、生活費が足りなくなるまで、毎月20万円が支払われます。



## ●企業・団体との連携活動例



予想以上の社員が積極的に受験  
健康行動に変化が出ています

株式会社丸井グループ



公式テキストを参考にした  
健康情報お届けツール活用

住友生命保険相互会社



検定受験やセミナー参加で  
健康ポイントがたまる

広島県・高知県など



経産省「健康経営優良法人2018」  
認定評価指標の適合例として、  
「検定受験」が新たに追加



日本健康マスター検定の推進で  
健康経営を実現

ヤマト運輸株式会社



お客様の健康リテラシー向上に  
向けた取り組み

東京海上日動火災保険株式会社



「健康マスター」の称号を  
名刺に使用

株式会社メディカルホールディングス



ローソンの健康マスターが  
選んだ健康商品

株式会社ローソン



組合員向けに  
健康啓発セミナーを実施

東京金属事業健康保険組合



「@Health+Care」による  
健康経営支援サービス開始

株式会社パソナ



認証資格 人・都市の「健康」づくりに必要な  
情報提供の役割を担う「健康アンバサダー」

スマートウェルネスコミュニティ(SWC)協議会



## ●企業・団体との連携活動例

### <ローソン様>

健康マスター取得者の店長が選んだ健康商材のコーナー展開



### <住友生命様>

・健康増進型保険「Vitality」、  
スミセイレディー営業活動での活用

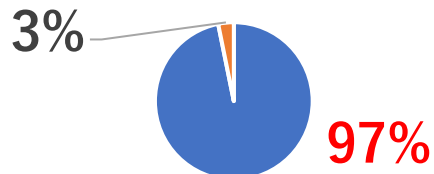


### <丸井グループ様>

・「ウェルネス経営推進プロジェクト」の一環として社員参加型での取組



■ 健検受検を通じてリテラシーが向上、  
**97%の人の意識と行動が変化**  
(※自社アンケート結果より)



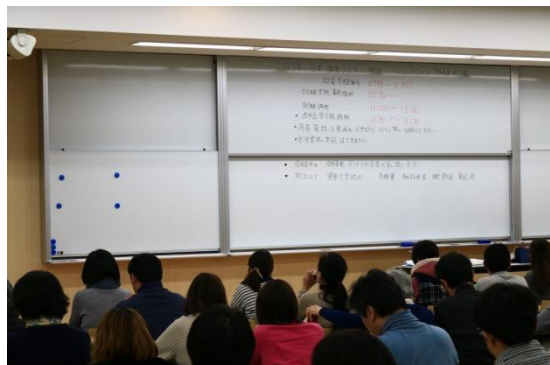
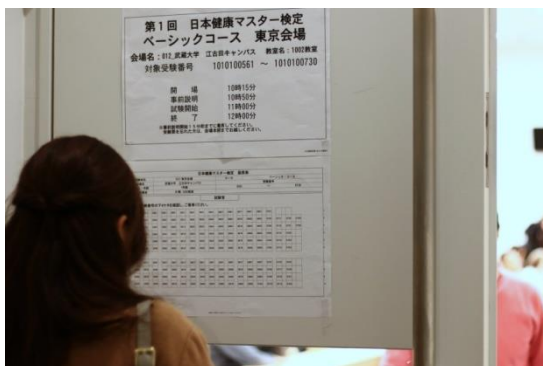
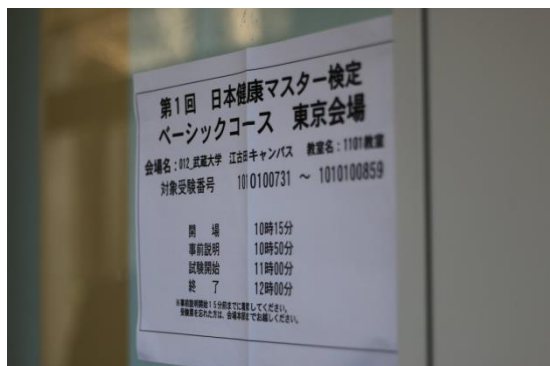
■ 意識・行動が変化

お客さまを応援するためには、まずは私たち自身から

私たちの会社では、健康増進型保険「Vitality」を通じて、お客さまの健康増進を応援し、健康長寿社会の実現を目指していく「Japan Vitality Project」に取り組んでいます。



## ● 会場風景写真





- 日本健康マスター検定試験・合格認定証



- 日本健康マスター検定試験・合格者バッジ



- 「健康マスター」名刺使用

